

人が集まり、続く現場へ。 これからの建設業のカタチ

地方建設業が直面する人材課題に向き合い、
“考え方”と“体制づくり”の両面から未来を描く

地方建設業では、人手不足や業務の属人化により、技術者に負担が偏りがち。
セミナーでは、チームで現場を支え、無理なく続く現場をつくるための体制づくりと、
建設産業の価値や人材の捉え方について考えます。

2026
6/30 (火)
13:30~16:30
(13:00受付開始)

- 会場** 山口グランドホテル2F「孔雀」
山口市小郡黄金町1-1 (JR 新山口駅 新幹線口より徒歩1分)
- 対象** 県内に事業所のある建設企業の経営者等
※経営層・管理職・現場リーダー・人事担当者など、幅広い方々にご参加いただけます。
「キーマン」となりそうな方と一緒にでの参加もオススメです！
- 定員** 100名 (先着順) ※複数名でお申し込みいただけます。

参加
無料

プログラム 1 トークイベント 選ばれる建設企業になるための 『働き方改革』

～「〇〇疲れ」時代に、
人を呼び人を留めるアップデート～

- ① 人が来ない理由 —— 地方建設業がアップデートすべき価値観
- ② 「選ばれる」「選ばれない」の分岐点
- ③ 「〇〇疲れ」時代の処方箋
- ④ 制度・効率ではなく安心・信頼としての「働き方改革」
- ⑤ 人がつながる3法則 —— 平成型が見落とす令和の重要点

【登壇者】株式会社 新建新聞社
事業部長／編集長 酒井 真一 氏

【プロフィール】

信州大学人文学部卒業。「地域の基盤を支える建設業を伝える仕事」に惹かれて 建設専門紙・新建新聞社に入社し、日本全国や海外で建設に関わる仕事を取材。編集長のほか、長野県建設業協会とコラボした入職企画のプロデュースや、全国建設青年会議での登壇・動画制作、地方整備局研究発表会での講演、各地の一般向け建設体験イベントのプロデュースなどを行っている。ポリシーは「地域を支え、命を守っている地域建設業の魅力と重要性を広く伝えていくこと」。



プログラム 2 チームで支える現場 マネジメントのあり方 — 建設ディレクターの役割と実践 —

人材不足が深刻化する中、技術者がコア業務に集中できる体制づくりに向け、建設ディレクターという新たな職域についてご紹介します。

また、人材発掘の取り組みや専門工事業者における導入事例について、県内企業の事例発表を予定しています。

【登壇者】一般社団法人 建設ディレクター協会
理事 田辺 直子 氏

建設ディレクター育成講座や事例紹介はコチラ▶



気になっているけど、自社に合うか迷っている企業様へ
建設ディレクター個別相談会 事前予約制

人材確保や社内外の役割分担、導入までの進め方などに不安があり、建設ディレクターの導入を迷っている企業様向けの個別相談会です。
セミナー終了後、一般社団法人 建設ディレクター協会の担当者が、導入前の疑問やちょっとした不安に、1社ずつお応えします！

※セミナー申込時にあわせて事前予約が必要です。

申込

右記二次元コードからお申し込みください。
<https://forms.gle/9C1ERYECXZ5aBPQGA> (Googleフォーム)

申込期限：6月26日(金)



やまぐち建設産業魅力発信ポータルサイト
「やま建Navi」でも、
さまざまな情報をご確認いただけます！

★掲載企業も随時募集中★



お問い合わせ

主催：山口県

 **山口しごとセンター**

山口市小郡令和1丁目1番1号 KDDI 維新ホール3F

TEL 083-976-1145 (担当：井上、松山)

E-mail dobokukenchiku@joby.jp